



深川社協だより

ふかわ

第 61 号
2023.9.1

絵は河野香代美さん(深川1丁目)

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会

8月12日(土)に下庄夏祭り大会が6年ぶりに下深川駅近くの食協棟構内で行われました。盆踊り、抽選会、舞台での発表会などがあり、若い人が多く過去最大の人出でにぎわいました。

写真提供 池下 幸節氏



地域つながるふかわ

深川地区社協の理事会の皆さんで、3回研修会を持ちました。第1回目の研修会要旨は第60号に掲載しましたが、今回は改めて3回の研修をまとめてみました。講師は酒井 保様(近所福祉クリエーター)にお世話になりました。

2025年問題という事が言われています。国民の3人に一人が65歳以上、5人に一人が後期高齢者になります。これは高齢者の課題と同時に、実は次世代の子どもの課題でもあります。それでは次世代の子どものためにも「何をやる」べきか。それは

- ① 若い世代に負担をかけないため、健康であること。
- ② みんなが人間関係を持ち、支え合う「社会性」を持つこと。

私たちの周りには地域の関わり合いやグループ活動等のつながりがあります。それらへの参加がその人の満足度を高め、「お互いに気かけ合う関係」がフレイル(虚弱)予防になり、健康寿命を延ばすことになるそうです。深川にある個人的な社会、地域とのつながりをグループで出し合ってみましょう。

○おすそ分け ○食事・お茶・飲み、パン作り ○ボランティア活動 ○野菜作り ○運動・散歩しながら立ち話・健康体操 ○お寺の集い・・・等、100を超えるつながりが発表されました。さらに、地域の中で世代間同士がどうつながっていくかということや、専門職(包括支援センターや地域支えあい課など)の方々どう連携し合いながらつながっていくかの大切なことを学びました。

その後「子ども達にもっと積極的に挨拶をしよう」と思いました。「地域の行事を子どもたちのお父さん、お母さんと共に運営できたらいいな。」などつながるという事の大切さが話し合われました。今後の社協のめざす方向が、少し見えてきたかなと思える研修会となりました。

(深川社協 会長 山口悦朗)

ふれあいセンターふかわ 開設日増加のご案内

深川地区社会福祉協議会では、令和5年4月より拠点事務所（ふれあいセンターふかわ）開設日を毎週1日から2日へと日数を増やしました。
地区の皆さんが多数、相談に来られるのを、お待ちしております。ぜひ、お気軽にお越しください。

開設日 毎週水曜日、金曜日
時間 午前9時～12時まで
場所 高陽公民館の中です
相談員 2名が応対します
内容 地域の皆さんとの交流
困りごとの相談
車いす貸し出し窓口
その他

電話・FAX 082-824-8501

交流・相談などでお越しいただき、体操と一緒にされた方はポイントの対象となりますので、ポイント手帳をお持ちください。



深川地区社協役員人事のお知らせ

(令和五年四月)

新任理事の皆さん

久都内文治 保護司
水川 薫 深川小学校PTA会長
岡野 由佳 深川区子ども会育成協議会会長
岡崎 雅子 民生委員・児童委員（深川台）
榎谷 省三 民生委員・児童委員（院内）
小田 通子 民生委員・児童委員（下庄）
山村 圭司 民生委員・児童委員（尾和）
岡本 和子 深川台地区福祉委員

【順不動・敬称略】

なお、この度退任されました皆様には長い間「苦勞様」ございました。今後とも社協の活動にご協力賜りますようお願い致します。

令和5年度「敬老会行事」

について

今年度も敬老会行事として、戸別訪問でお祝い品をお届けさせていただきます。皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

お祝い品対象の方

※ 令和5年6月30日現在で75歳以上の方

支出の部

○会費（区社協会費）	101,400
○事務費	230,000
○会議費	20,000
○広報費	120,000
○福祉事業費	
①福祉の町づくり総合推進費	250,000
②地区社協自主事業費	710,000
○助成金	150,000
（女性会、福寿会、青少協、体協、子ども会）	
○予備費	31,961
支出合計	1,613,361

収入の部

○繰越金	831,583
○助成金収入	
深川地区自治会連合会	100,000
地区社協運営費	100,000
共同募金実績割金	136,770
福祉の町づくり総合推進事業	150,000
広報紙助成金	15,000
○寄付金収入	280,000
○負担金収入（敬老会参加者）	0
○雑収入（預金利息）	8
収入合計	1,613,361

深川地区社会福祉協議会
令和5年度予算

深川地域コミュニティでの行事

4月以降行われた主な行事

- 4月8日 小中学校入学式
- 5月28日 深川小学校運動会
- 6月4日 献血活動
- 6月17日 高陽中学校運動会
- 7月22日 高陽絆まつり
- 7月29日 陰地夏祭り
- 7月30日 クリーン太田川
- 8月5日 中郷・西塚・深川台合同、院内、上庄、尾和夏まつり
- 8月12日 下庄夏祭り

9月以降予定している主な行事

- 9月18日 敬老の日
- 10月1日 深川学区民大運動会
- 10月14・15日 亀崎神社秋季例大祭
- 11月19日 青少協意見発表大会
- 11月25・26日 あさきた元氣フェスタ
- 12月3日 高陽公民館まつり
- 12月3日 安全安心なまちづくり
- 1月7日 安佐北区民大会

絆まつりが開催される

7月22日(土)10時~17時迄、フジグラン高陽ふれあい広場で『高陽絆まつり』が開催され、ステージでは和太鼓、ダンス、神楽などが披露されました。



65歳以上の皆様を訪問します

民生委員・児童委員は皆様が安心して暮らせるよう地域の相談相手です。この度、広島市から提供されたリストにより65歳以上の皆様を6月~12月の間訪問し、心配ごと・困りごとなどを聞き取り、必要な福祉サービスの情報提供や関係機関へつなげます。また、地域の行事やサロンへの参加の呼びかけと見守りのための訪問活動を行っています。皆様のご協力をお願いします。

- ※ 訪問に際しては市が発行した身分証明書を携帯しています。
- ※ 65歳以上の人、全員を必ず訪問するものではありません



地区民生委員・児童委員協議会



愛のともしび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立てくださると、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。(令和五年一月~六月)

- 福岡 壽 (深川六丁目)
- 根石 正也 (深川六丁目)
- 上里 泰啓 (深川四丁目)
- 橋本 一成 (深川三丁目)
- 大下 昭彦 (深川三丁目)
- 向井 高長 (深川八丁目)
- 新山 昭美 (深川四丁目)
- 牛黄耆 哲 (深川三丁目)
- 西川 幹枝 (深川三丁目)
- 西村 正晴 (深川六丁目)
- 寺西 弘文 (深川七丁目)
- 福岡 正章 (深川六丁目)
- 立川 正彦 (深川七丁目)
- 横山 正道 (深川七丁目)

(受付順 敬称略)

お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただきます。【深川地区社会福祉協議会】



あんびんの会

(陰地・奥迫・深川台)
陰地福祉委員 立川 幸恵

「お口の清掃は予防医学」

「認知症」「糖尿病」「誤嚥」「フレイル」「健康寿命」等々、シニアにとって気になる、おなじみのワードに奥迫集会所に集まった皆さんは興味津々です。

月に一度のあんびんの会。この日は、歯科衛生士会から赤穴悦子さんをお招きし、口の中の清掃をすることは様々な病気を予防し健康寿命を延ばすことにつながる、というお話を聞かせていただきました。

歯ブラシの使い方やみがき順を指導され、これまでのやり方とは変わっていることを実感しました。また、舌の力を鍛えるためのトレーニング用具を使っての実践などもあり、あっという間の一時間半でした。

昨年の十月、コロナ禍が落ち着き始めた頃合いを見て再スタートしたあんびんの会。楽しいゲームや室内スポーツだけでなく、時には知識と教養をみがき、日々の生活を向上させるために、こんなこともやっています。



ふかわの昔 尾和編その1

深川地区の北の端にある尾和は根の谷川を境に可部に接しています。この地も太田川・三篠川・根の谷川の合流点にあり、大雨の度に、太田川の水に押されて逆流した濁水による田畑の浸水が常でした。その濁水が運んだ砂などで徐々に肥沃な畑が広がり、高陽町史では、明治時代尾和地区の大半が畑地となっていたとあります。砂地だけの畑は、ごぼうや長いもが良く育ち、大阪市場では「深川ごぼう」の名で知られていました。今では河川改修で洪水もなくなり、畑地も宅地に変わりつつあります。この地の山添いに尾和の人々が大切に守り継いで来た史跡があります。中でも深川橋を渡って尾和に入るとすぐ目につくのが立派な石垣の善徳寺です。この寺は私称教徳院 武田氏の末流山村平兵衛が享禄年中 桜尾城で討死後、一子は出家して超印と称し、佐伯郡石内村の慶蔵坊の弟子となり天文21年(1552)(県史では天文11年とあり)下深川へ来て真言宗教徳坊の寺跡を真宗に改め善徳寺の開基となった(高陽町史)とあります。寺の裏山一帯の石垣は昔飢饉の際、当時の住持が多くの難民を受け入れ、救済事業として築いたもので、椿を植えた所は「椿が原」と呼ばれました。そこには鳥が沢山来るので藩主も時折折猟に来て、善徳寺で休憩されたといわれます。この寺には、広島市指定重要有形文化財の梵鐘があります。寛永11年(1634)白神社の神女が白神社に寄進した珍しい技法を用いられた鐘です。この鐘がお寺に来た経緯は不明ですが、三百年以上たった今でも変わらず美しい音色を響かせています。



善徳寺梵鐘

深川郷土史研究会

升尾 成美